



第8回趣味の作品展

今年で8回目になる趣味の作品展、生きがいとして制作している中高年齢者の作品を是非ご鑑賞ください。
 日時：11月17日(土) 9:00~17:00
 11月18日(日) 9:00~15:00
 会場：めじろ台第一会館(めじろ台駅下車2分)
 定員：なし
 参加費：出展料500円、鑑賞者は無料
 担当・北澤 090-3138-6429
 主催：NPO法人 めじろむつみクラブ(MMC)

いちよう祭り わくわく広場で箱庭体験

箱庭療法を気軽に体験できます。砂箱の中に様々なミニチュアを置いて、オリジナルな風景を作ってみましょう。
 日時：11月17日(土)~18日(日)
 会場：長府市民センター
 定員：先着順の予約制
 参加費：無料
 申込：当日会場にて
 問合せ：080-5429-2675 田中
 主催：カウンセリングスペースまてりあ



高尾山紅葉まつり とんとんむかし おはなし会

八王子は伝説と昔話の宝庫。紅葉まつりは高尾山が一番にぎやかになるときです。ぜひ昔話を聞きにお出でください。
 日時：11月23日(金・祭日) 10:30~14:30
 会場：高尾山山下の不動院内
 定員：なし 申込み不要
 参加費：無料
 問合せ：042-663-7789 小室(夜間)
 主催：高尾山とんとんむかし語り部の会



プロ・ナチュラリスト佐々木洋さんと行く高尾山自然観察会

テレビ等に出演されている佐々木洋さんを講師に迎え、高尾山日影沢で昆虫や植物の観察を行います。
 日時：11月24日(土) 10:00 JR高尾駅北口集合
 会場：八王子市裏高尾(日影沢キャンプ場周辺)
 定員：小学生の親子 10組 20名
 参加費：1組(大人・子供各1人) 500円(保険代+資料代)
 お弁当、バス代は別途準備ください。
 申込先：メール morijin.network@gmail.com
 イベント等 詳細は下記HPをご覧ください。
 http://www.facebook.com/morijin.network
 主催：NPO法人 森と人のネットワーク

ブラッシュアップ英語クラス by Movie

米国人カリリン講師のもと、映画を題材にしたテキストを使って英会話のブラッシュアップを図るクラスです。
 日時：11月30日(金) 10:00~12:00
 会場：クリエイティブホール第2学習室
 定員：20名 *英検準2級程度以上、要日常会話程度の英語力
 参加費：1,000円
 申込先：080-9804-3365 木之下
 Foliage2012@gmail.com
 主催：Foliage



シニアを元気にするフェスティバル(市民企画事業補助金事業)

フィランソロピーとして活躍されている渡邊一雄氏の講演の他、市内の団体に活動事例を紹介していただきます。
 日時：12月1日(土) 13:30~16:30
 会場：八王子労政会館
 定員：100名
 参加費：無料
 申込先：090-4934-8707(渡辺)
 メール shigeo.watanabe@smile.ocn.ne.jp
 主催：八王子高齢者活動コーディネーター会

「定年準備のabc」教えます

定年退職前後に必要な諸手続きや、定年後の生き甲斐、健康保険、年金、資産運用などを解説いたします。
 日時：12月6日(木) 10:30~12:00
 会場：東京都多摩消費生活センター
 定員：30名
 参加費：資料代として1,500円(当日会場にて)
 申込先：FAX/042-660-0463
 氏名・電話番号・住所・セミナー名をご連絡下さい。
 主催：NPO法人 多摩FP

劇団京芸『陽気な地獄破り』

えんま様を怒らせて地獄行きの4人組。ない知恵絞って大活躍! さあさ、あなたも一緒に大冒険
 日時：12月16日(日) 開演 14:00
 会場：南大沢文化会館主ホール
 定員：500名
 参加費：3,500円 当日 4,000円 小学生以上
 申込先：042-645-1739
 主催：NPO法人 八王子子ども劇場

緑のオーナーになりドングリ等の苗を家で育てよう

東日本大震災の被災地に送るナラノ木(どんぐり)等の苗を家で育てませんか。栽培指導に係りが訪問します。子どもの勉強になり、外出困難なお年寄りも盆栽で楽しめます。
 定員：なし 先着順受け付け
 参加費：無料
 問合せ：TEL/FAX 042-646-5322 小山
 主催：NPO法人 高尾・陣馬山桜百万本植樹・管理プロジェクト

スポーツ吹矢カルチャー教室 新設

基本動作の呼吸法を習得し、的当ゲームを楽しみます。6m(ジュニアは4m)からスタート、10mへ進みます。
 日時：第1・第3土曜、月2回 13:30~15:30
 会場：八王子市レクリエーション協会(八王子市明神町)
 定員：20名(先着順)
 参加費：1人1回1,050円 用具不要 運動靴持参
 申込先：042-656-0901
 主催：八王子市レクリエーション協会
 主管：八王子スポーツ吹矢協議会

出前語り部公演

八王子の伝説・昔話を語り部に伺います。数人の語り部が得意な話、出向いた地域の昔話や伝説を語ります。
 条件：交通費実費を頂きます。
 申込先：042-663-7789 小室(夜間)
 主催：高尾山とんとんむかし語り部の会

ボランティア募集

こころを癒すメイクボランティア ネバーランド
 施設・デイサービス・サロン等でのメイク、ハンドマッサージ等の美容支援、指導をとおして前向き・笑顔になれるお手伝い。
 条件：女性
 申込先：080-1052-6431 横倉



SUPPORT 802
 八王子市 市民活動支援センター 広報紙

発行日: 奇数月1日
 発行: 八王子市民活動支援センター
 〒192-0083 八王子市旭町12番1号
 ファルマ802ビル5階
 電話: 042-646-1577 FAX: 042-646-1587
 メール: npo802@shiencenter-hachioji.org
 URL: http://www.shiencenter-hachioji.org/
 指定管理者: NPO法人八王子市民活動協議会

日本財団・和田さんに聞く
 助成金申請の採択の決め手!!

公益財団法人日本財団では、年間500件近い事業に助成を行っています。審査の際、重視すること、求めていることなどを、広報グループの和田さんにお話しいただきました。

「審査の際重視していることは、助成金を活用する活動や団体の成長性、その活動を行うことでの社会に与える影響や効果、その活動自体が実現できるのかという点ですね。多くの申請書を審査するので、分かりやすさも大切な要素になります。美文ではなく、伝わる申請書を書いて欲しいです。応募用紙は、助成団体ごとに工夫しているので、書式に沿って簡潔に書くことも大切



▲日本財団広報グループ 広報チームリーダー 和田真氏

です。また活動の実態がない団体の申請書には、実現性が見えないことが多いですね。助成を受けても活動をやりきれなかつたりします。」と話す和田さん。助成金を活用するには、基盤となる活動が必要だと言えます。

申請の際に、団体に気を付けて欲しいと感じていることは、「締切間近に飛び込みで申請をするのではなく、余裕を持って申請をして欲しいと思います。そうすることで財団の意図することも理解できるし、誤字脱字などのない申請書が作成できますから。」とのこと。

団体に期待することとしては、「個人的な考えですが、何とか法人としての形になり、さらにもう一歩進もうとしている団体に頑張ってもらいたいと思います。助成金を活用し成熟した団体が増えていけば、これから活動を始めようとしている団体、始めたばかりの団体にも刺激になるし、全体的にも活性化すると思います。」と、助成金が有効に活用されることへの思いをお話しいただき、1時間の取材を終えました。今回の和田さんのお話を通し、助成金が団体の成長や市民活動全般の活性化につながればという日本財団の姿勢を感じました。

助成金情報



詳しくは、当センターにお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
NPO 基盤強化資金助成	公益財団法人 損保ジャパン記念財団	社会福祉分野で活動する団体	上限 100万円	11/16(金) 必着
国内助成プログラム	公益財団法人 トヨタ財団	市民活動 地域間連携	上限 300万円 上限 1000万円	11/19(月) 消印有効 WEB(17時)
広域的市民 ネットワーク活動事業	公益財団法人 東京市町村自治調査会	まちづくり	助成対象事業の50% 上限 120万円	12/5(水) (助成を受けていた団体 11/15)
東京都の緑を守ろう プロジェクト	一般財団法人 セブン-イレブン記念財団	環境	単年度助成 10万円 2年助成 30万円/年	12/10(月)
芸術活動助成	公益財団法人 朝日新聞文化財団	文化	10万円から100万円	12/14(金) 必着

採択されるための 助成金・補助金申請の基礎

伝わる申請書の書き方ポイント！

- ◇ 申請書は、指定された申請方法、記載事項、文字制限などの様式を守ります。
- ◇ 専門用語は避け、平易な表現を心がけます。
- ◇ 事業を行う①目的、②解決策や実現性、それによる③効果を具体的に、1：1：1を目安にまとめます。課題、熱い思いの羅列はNG！それぞれ共感できるポイントをおさえながら、データや事実などを利用し簡潔にまとめます。
- ◇ 美しい文章表現や感動的な文章は不要。長い文章よりも、箇条書きなど、要点を簡潔に書く工夫が大切です。



助成金・補助金は、市民団体にとって大切な資金源です。助成金・補助金を活用することは、団体の成長発展につながります。活動の目的に合った助成金を探し、積極的に活用しましょう。

助成金申請を念頭に入れた年間計画

年間活動計画の中に、助成金申請を組み込み、余裕をもって準備をしましょう。多くの財団は、同時期に応募を行いません。完成したものは、団体内で共有し、誤字脱字などの確認をしましょう。

★参考資料★

- ・助成金応募ガイド（公益財団法人助成財団支援センター）
- ・ボランティア・市民活動助成ガイドブック（東京ボランティア・市民活動センター）

財団・行政はパートナー

財団は、助成金によって財団のミッションを果たしてくれるパートナーを探しています。助成金だけでなく、活動の上でも連携が生まれています。助成金を探す場合、パートナー選びという意識をもって、自分たちの活動のミッションに合う財団を選ぶことが大切です。助成金取得だけを目的に申請してしまうと、自分達が目指す活動ができなくなる場合があります。

※当センターでも、助成金についてのご相談をお受けしています。

事業名は事業の顔

事業名は、活動の中身が分かる名前をつけましょう。分かりやすく、簡潔な表現で、活動の全体像が伝わる工夫が必要です。

効果的な添付資料の使い方

添付資料は、事業全体を伝える申請書の補足資料です。添付資料を効果的に使うには、申請先に合わせた「量と質」を選ぶことが大切。厳選せずに取りあえず添付することは逆効果です。

活動が見える予算書づくり

事業計画が見える予算書を作りましょう。事業内容、予算書、スケジュールは連動させ、事業計画に見合った予算を具体的に作ります。助成金によっては、対象となる経費とならない経費があるので、募集要項で確認が必要です。

平成 25 年度八王子市『市民企画事業補助金』補助対象事業募集

受付期間：2012年10月22日（月）～11月26日（月）必着



市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募方式により募集し、厳正な審査を経て決定します。

○補助対象など

- A 部門：自らの活動を広く紹介する事業に要する経費（上限 10 万円・補助率 10/10）
- B 部門：自立運営を目標とするもしくは将来、市と協働を目指し試行する事業（上限 100 万円・補助率 1/2）

応募相談会 ※申込不要

日 時：2012年11月10日（土）13:00～15:00 会場：八王子市市民活動支援センター
問合せ先：八王子市市民活動推進部協働推進課 TEL/042-620-7401 FAX/042-626-0253

アクティブ市民塾

11/25 「災害！その時、 自分を家族を地域を守る方法」

八王子市赤十字奉仕団は、救護訓練や献血推進活動など日本赤十字社の人道的な活動を地域で実践する団体です。災害時に減災のために知っておくべきことと AED の使用法を学び、いざという時に備えます。



- ◆日 時：11月25日（日）10:30～12:30
- ◆会 場：八王子市市民活動支援センター
- ◆講 師：八王子市赤十字奉仕団委員長 八木幸子さん
日本赤十字社東京支部救護課長 田中正人さん
- ◆参加費：無料
- ◆定 員：30名（申込先着順）

お申込み方法：八王子市市民活動支援センターまで、お電話、FAX、メールでお申込みください。

- ★電話/042-646-1577 ★FAX/042-646-1587
- ★メール/npo802@shiencenter-hachioji.org



12/15 「手づくりしめ縄で迎えるお正月 次代に受け継ぐわら細工体験」

わら細工の会「円座」は、物を大切にしたい先人の知恵やわら細工の技を次代につなげる活動を行っています。今回は初めてでも作ることができる作品に挑戦し、新年を迎える準備をします。

- ◆日 時：12月15日（土）13:30～16:30
- ◆会 場：クリエイティブホール 6階レクリエーション室
- ◆講 師：わら細工の会「円座」
- ◆参加費：500円（材料費）
- ◆持ち物：はさみ、作品を持ち帰る袋
- ◆定 員：30名（申込先着順）



センターだより

三日間の中学生スタッフ 桐田中学校から職場体験

7月10日（火）から12日（木）までの3日間、桐田中学校2年生2人が支援センターに職場体験に来てくれました。センターでは、電話の対応やパソコンによる書類作成、コピーや印刷などの業務を行いました。その他、ヒューマンケア協会さん、八王子子ども劇場さん、八王子国際協会さんを訪ねて話を聞いたり、子ども家庭支援センターで小さな子ども達と遊んだりしました。盛りだくさんの内容でしたが、2人とも様々な体験をして充実した3日間を過ごせたようです。



インターンシップを通して感じたこと 活動への思い

法政大学の羽鳥晴美さんが、インターンとして当センターに来てくれました。市民活動に関ることがなかったという彼女が、この経験を通し、感じたことを素直に書いてくれました。

6日間と短い期間ではありましたが、インターンシップを通し多くのことを学ぶことができました。今までNPOや市民活動について知る機会を得なかった私にとっては、本当に貴重な経験でした。働いている方も、センターを利用される団体の方も皆さん笑顔で楽しんで活動されているというのがとても印象的でした。市民活動が町の活性化や高齢の方の社会参加につながっているという一方で、現状課題として活動費の確保や若者の参加が少ないということも知りました。自分にできることとして、大学の発表で市民活動について話し、私たちの世代が市民活動について知ってもらえるようにしたいと思います。このインターンシップを通し、たくさんの人と出会い、様々な考えや生き方を知ることができ、私にとってとても有意義なものとなりました。

八王子市民活動協議会からのお知らせ

第33回八王子いちようまつり「わくわく広場」へ

日時：11月17日（土）・18日（日）10:00から16:30

会場：長房市民センターとセンター前河川敷

年ごとに賑わいを増す「わくわく広場」は市内の市民活動団体が協力し合って会場を作っています。今年のテーマは「体験」。綿菓子づくりなど様々な体験を子どもから大人まで楽しめます。ゆっくり座れるフードコートも種類が充実。市民センターの和室は授乳・おむつ替えができ、高齢者や乳幼児の休憩所としてご利用いただけます。「うたごえ」が響く、のんびりゆったり「わくわく広場」へ是非お立ち寄りください。

